

# 完了後の評価個表

整理番号 森5-1

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	愛知県
地区名	とよたし 豊田市	事業実施主体	愛知県、豊田市（旧豊田市、旧下山村、旧旭町）、（一社）愛知県農林公社、豊田森林組合等
関係市町村	豊田市（旧豊田市、旧藤岡町、旧小原村、旧足助町、旧下山村、旧旭町、旧稲武町）	管理主体	愛知県、豊田市（旧豊田市、旧下山村、旧旭町、旧稲武町）、（一社）愛知県農林公社等
事業実施期間	H15～H19（5年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 豊田市は、愛知県の中央部から北東部に位置し、北東部から南西に向かい流れる矢作川が豊かな恵みをもたらしている。南側は岡崎市、安城市及び知立市、西側は刈谷市、みよし市、日進市、長久手市及び瀬戸市と接している。北側から東側は、岐阜県、長野県、設楽町及び新城市と接している。</p> <p>② 森林の状況 当市の森林面積（国有林含む）62,630ha（森林率68%）のうち、地域森林計画対象森林の面積は61,273haで森林全体の98%を占めている。 人工林は35,183haで57%を占めており、年齢構成では8年齢以下が23%（7,942ha）、9年齢以上が77%（27,241ha）を占めている。 また、水源かん養保安林が5,173ha、土砂流出防備保安林が12,978ha指定されているなど、森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるための森林整備の実施が期待されている。</p> <p>③ 当地区を整備する目的・意義 当地区の人工林は、9年齢以上の森林が多く、利用期を迎えつつあるが、森林所有者等の森林整備に対する意欲の低下が懸念されていた。また、森林の有する公益的機能の高度発揮に対する期待が高まっている状況であった。 また森林経営の基盤となる林道等の路網が不十分であったことから、適切な森林施業の実施や効率的な木材生産に支障をきたしていた。 このため、計画的に除・間伐等の森林施業を推進するとともに、路網が必要な森林にて森林環境の保全に資することを目的として事業を導入した。</p> <p>（事業概要） 森林整備 植栽 39ha、下刈 405ha、枝打ち 225ha、除・間伐 1,915haなど</p> <p>森林管理道整備</p> <table border="0"> <tr> <td>① 猿投山1号線</td> <td>車道幅員 4.0m</td> <td>開設延長 179m</td> <td>利用区域面積 57ha</td> </tr> <tr> <td>② 切山鑄師釜線</td> <td>車道幅員 4.0m</td> <td>開設延長 2,412m</td> <td>利用区域面積 122ha</td> </tr> <tr> <td>③ 羽布下り沢線</td> <td>車道幅員 5.0m</td> <td>開設延長 1,131m</td> <td>利用区域面積 366ha</td> </tr> <tr> <td>④ 浅野線</td> <td>車道幅員 5.0m</td> <td>開設延長 579m</td> <td>利用区域面積 246ha</td> </tr> <tr> <td>⑤ 河上瀬柏洞線</td> <td>車道幅員 4.0m</td> <td>開設延長 1,370m</td> <td>利用区域面積 347ha</td> </tr> </table> <p>総事業費 1,629,175千円 （当初総事業費 2,356,239千円）</p>	① 猿投山1号線	車道幅員 4.0m	開設延長 179m	利用区域面積 57ha	② 切山鑄師釜線	車道幅員 4.0m	開設延長 2,412m	利用区域面積 122ha	③ 羽布下り沢線	車道幅員 5.0m	開設延長 1,131m	利用区域面積 366ha	④ 浅野線	車道幅員 5.0m	開設延長 579m	利用区域面積 246ha	⑤ 河上瀬柏洞線	車道幅員 4.0m	開設延長 1,370m	利用区域面積 347ha
① 猿投山1号線	車道幅員 4.0m	開設延長 179m	利用区域面積 57ha																		
② 切山鑄師釜線	車道幅員 4.0m	開設延長 2,412m	利用区域面積 122ha																		
③ 羽布下り沢線	車道幅員 5.0m	開設延長 1,131m	利用区域面積 366ha																		
④ 浅野線	車道幅員 5.0m	開設延長 579m	利用区域面積 246ha																		
⑤ 河上瀬柏洞線	車道幅員 4.0m	開設延長 1,370m	利用区域面積 347ha																		

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成25年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 森林管理道整備（H18、H19計画分）の道整備交付金への移行等により、総事業費及び総費用、総便益とも減少となった。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益（B）</td> <td>14,665,951千円</td> <td>（事業採択時</td> <td>27,205,922千円）</td> </tr> <tr> <td>総費用（C）</td> <td>2,680,253千円</td> <td>（事業採択時</td> <td>3,655,804千円）</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B/C）</td> <td>5.47</td> <td>（事業採択時</td> <td>7.44）</td> </tr> </table>	総便益（B）	14,665,951千円	（事業採択時	27,205,922千円）	総費用（C）	2,680,253千円	（事業採択時	3,655,804千円）	分析結果（B/C）	5.47	（事業採択時	7.44）
総便益（B）	14,665,951千円	（事業採択時	27,205,922千円）										
総費用（C）	2,680,253千円	（事業採択時	3,655,804千円）										
分析結果（B/C）	5.47	（事業採択時	7.44）										

② 事業効果の発現状況	<p>本事業で除伐及び間伐等を実施した人工林は、健全な森林として整備され、森林資源として一層充実してきている。 林道が整備された区域においては、森林施業の効率化、木材生産の低コスト化が図られた。</p>
-------------	---

<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>本事業で整備された森林は、森林所有者自ら、又は、森林所有者から経営受託した森林組合等が適正に管理を行っている。また、今後の森林整備のため、森林施業の集約化を進めており、適切な森林管理が行われている。 開設した林道5路線については豊田市が管理者となって、市が定めた林道管理規則に基づき適正に維持管理しており、この林道を活用することで適切な森林整備が行われているところである。</p>
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>除伐及び間伐等を実施した森林は、不用木の除去や不良木の淘汰等が適切に行われ、明るく健全な林分に改善された。 林道開設による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>林道整備により、作業現場へのアクセスの改善、素材生産の低コスト化等が図られ、森林整備に対する意欲が高まりつつある。 森林施業の集約化や路網整備を推進し、計画的な森林経営や森林施業の低コスト化に向けて、地域が一体となり取り組んでいる。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林施業の実施に対する意欲が徐々に増進されてきているが、木材価格の低迷等により間伐等の実施状況が十分とは言えない状況であることから、森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を行い、積極的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>(地元の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林整備事業実施による土砂流出の防止、水源かん養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与している。(愛知県)</li> <li>・ 林道の整備により森林への到達時間が短縮されたため、森林所有者の森林整備に対する意識が高まった。(豊田市)</li> </ul>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 地元の意見にも見られるとおり、当事業の実施後は、土砂流出の防止、水源かん養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与するなど、当事業の効果が発揮されていること、森林の整備及び基盤となる路網の整備が総合的に実施されていること等から、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 森林整備及び林道の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、事業実施に当たってもコスト縮減に努めたことから、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 林道整備により、森林へのアクセスが容易になり、森林整備を実施するコストも縮減されることから、今後も事業効果の発現が見込まれていること、森林整備により、森林の景観が向上してきていること等から、事業の有効性が認められる。</li> </ul>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

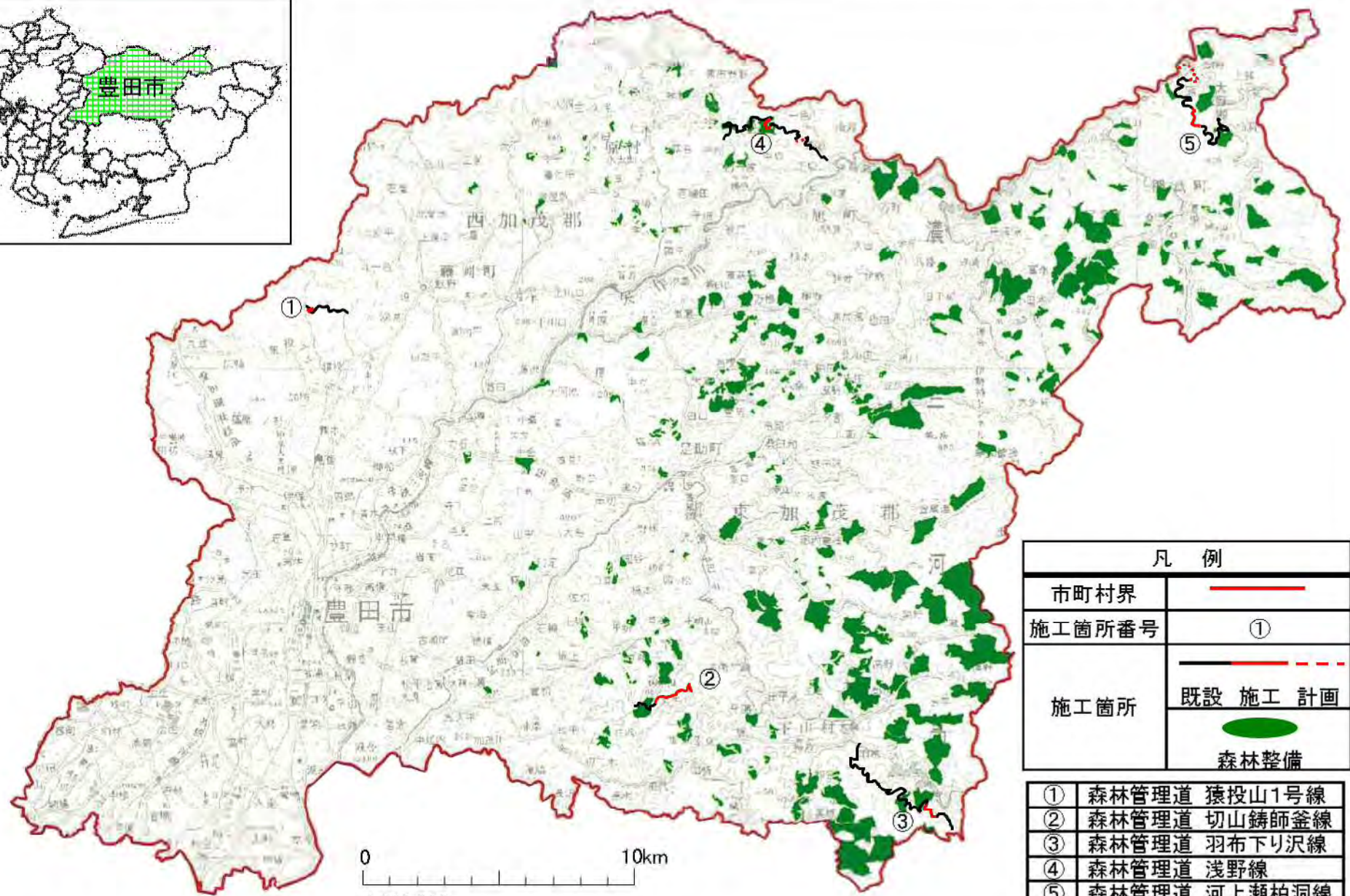
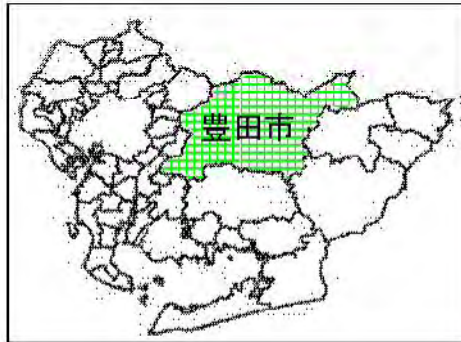
都道府県名: 愛知県

地域(地区)名: 豊田市

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	2,565,051	
	流域貯水便益	822,850	
	水質浄化便益	2,495,670	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,446,880	
	土砂崩壊防止便益	34,027	
環境保全便益	炭素固定便益	1,873,709	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	14,076	
	木材利用増進便益	39,898	
	木材生産確保・増進便益	2,631,308	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	704,930	
維持管理費縮減便益		37,552	
総 便 益 (B)		14,665,951	
総 費 用 (C)		2,680,253	
費用便益比	$B \div C = \frac{14,665,951}{2,680,253} = 5.47$		

# 森林環境保全整備事業 豊田市地区 概要図 【愛知県】



凡 例	
市町村界	—
施工箇所番号	①
施工箇所	— — — — —
	既設 施工 計画
	●
	森林整備

- ① 森林管理道 猿投山1号線
- ② 森林管理道 切山鑄師釜線
- ③ 森林管理道 羽布下り沢線
- ④ 森林管理道 浅野線
- ⑤ 森林管理道 河上瀬柏洞線